

### 不朽の名作映画を楽しむ

～昭和名作映画上映会～

優れた邦画を上映する「昭和名作映画上映会」が11月29日、市文化会館で開かれ、約300人の観衆が「青い山脈」など昭和20年代から30年代に制作された懐かしい映画を楽しみました。

この日上映されたのは、「青い山脈」のほか「また逢う日まで」、「野火」、「ぼんち」の4本で、同事業で用意されている22のプログラムのうち、今井正、市川崑両監督の作品を特集。このうち「青い山脈」では、戦後間もない頃の昭和の風景の中で、往年の名俳優がはつらつとした演技を繰り広げるさわやかな青春映画に、観衆も当時の暮らしを思い出しながら懐かしそうに見入っていました。



▲約300人が鑑賞に訪れ、昭和20年代から30年代に制作された懐かしい映画を楽しみました

### 優れた営農推進で東北地区功労者表彰

～農事組合法人田中ファーム～

集団ぐるみで取り組む水田営農などが評価され平成20年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰を受賞した農事組合法人田中ファームの三沢定幸代表が11月28日、市役所を訪れ、畠山総務部長に受賞を報告しました。田中ファームは、協業経営方式の農事組合法人として平成17年に設立。43戸の農家で構成され、47ヘクタールの耕地を営営しています。三沢代表は「受賞を機に、組合員にやる気が出てきたようだ。課題も多いが、活動を充実させていきたい」と抱負を述べていました。

畠山勇悦総務部長は「農業は市の基幹産業。受賞はほかの集落営農組織の励みにもなる。さらに発展してほしい」と期待を寄せました。



▲東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰を報告する三沢代表

### 息をあわせてジャンピング

～北秋田市ながなわとび大会～

北秋田市ながなわとび大会(合川地区体育指導委員会主催)が11月21日、合川体育館で開催されました。

この大会は旧合川町るときから開催されているもので、今年で通算11回目を数えます。競技は、1チーム14人のうち、跳び手10人がなわを飛び、まわし手2人が10メートルのなわをまわすもので、3回飛んだうち、多く飛んだ2回の合計数が一番多い順に勝ちとなるルールで順位が争われました。

競技では、跳び手のリズムとまわし手の息の合った上杉体協Aチームが227回を跳び優勝。2位に川井スキップジャンパーズ、3位に上杉体協Bチームが入賞しました。



▲心地よい汗を流した、北秋田市ながなわとび大会

### 懐かしいちんどん芸を披露

～大館能代空港ロビーコンサート～

大館能代空港ターミナルビルで11月22日、第48回ロビーコンサートが開かれ、大阪と秋田のちんどんグループが昔懐かしいちんどん芸を繰り広げ訪れた市民らを楽しませました。はじめに、潟上市が拠点のダンススコチンドン隊(安田典夫代表)が歌を交えた浅草オペラ調の曲などを披露し、ムードを盛り上げました。続いて、大阪のスープ・チンドンズ倶楽部(高木蜻蛉之介代表)が、大阪弁での口上が続く、ちんどん太鼓に哀調あふれる伴奏で大正浪漫ムードを演出しました。

最後は、ちんどん芸定番の「天然の美」など7曲ほどを両ちんどん隊が共演し、郷愁と楽しさあふれるパフォーマンスで魅了しました。



▲昔懐かしいちんどん芸で訪れた人たちを楽しませました(大館能代空港ロビー)

### 内陸線と観光を連携させた運動を要望

～北秋田市自治会連絡協議会～

北秋田市自治会連絡協議会の武藤慶信会長らが12月2日、市役所を訪れ、内陸線の活用などの要望書を佐藤副市長へ手渡しました。

武藤会長は「観光と連携した内陸線の利用促進」、「ゴミ処理経費の削減のための生ゴミの活用」、「空き家など危険な建物の撤去命令の検討」など要望内容を具体的に説明しました。

佐藤副市長は「内陸線は生活路線だけではなく、観光を含めて多くの方に乗車してもらうようにしていきたい。また、生ゴミの有効活用や買い物袋の持参など、減量化に向け市民の皆さんの協力が必要。空き屋の撤去命令は法的に難しいが、関係機関と連携し対応していきたい」と述べました。



▲市に要望書を提出した、北秋田市自治会連絡協議会の皆さん(市役所)

### 遊遊ガーデンを桜の名所に

～マタギスタッフの植樹活動～

北秋田市阿仁のボランティア団体、マタギスタッフ(柴田明弘会長の植樹活動が11月9日、打当地区の遊遊ガーデンで行われました。マタギスタッフは、毎年内陸線沿線草刈りや、打当温泉スキー大会など地域に根差した活動を行ってきた団体です。

今回の植樹活動は、秋田県緑化推進委員会の森林ボランティア団体植樹活動事業に認定されたもので、総勢30人が参加して、高さ2.5メートルから3メートルのソメイヨシノ24本を植樹しました。子どもたちもきれいな桜の花が咲くことを願いながら、丁寧に植樹活動に参加しました。早ければ、来年の春には、桜が楽しめるようです。



▲ソメイシノを植樹したマタギスタッフの活動(遊遊ガーデン)